

「インターアクトクラブの活動による校訓の実践と地域連携」

富士学苑高等学校

1. 本校におけるボランティア活動の理念^{†1}

富士学苑高等学校は、創立時から一貫して「人間形成」・「人造り」を目標としている。生徒個別の目標達成のために、その基本となる礼儀・規律遵守・物事に取り組む姿勢・生活態度などの錬成を図っている。その柱として、「報恩・奉仕・精進」の校訓の下、次の三つの生徒目標を掲げている。

- 一. 祖先の恩，両親の恩，人々の恩を感謝し進んで世のために奉仕できる人となろう
- 二. 常に精進し，難事解決に全力を尽くして実力を養い安心と自信に満ちた生活のできる人となろう
- 三. 優れた技能を身につけ，りっぱな生産的社会人になろう

校訓を実践するものとして、学校行事に「接心」がある。坐禅や写経等を通じ、「なりきる心」の体得に努める。坐禅をするときは心を整え、読経をするときは声を合わせて大きな声で読むなど、そのことだけに専念、集中し、精神を修養する。また、学校行事として「全校奉仕」が行われており、全校生徒で地域の清掃活動に取り組む機会を設けている。さらに、地域との連携を図るため、インターアクトクラブが創部され、地域振興に努めている。

2. 富士学苑高等学校インターアクトクラブの概要^{†2}

インターアクトクラブは、地域のロータリークラブの支援を受けて設立されるクラブで、地域貢献と国際交流を行うことを目的としている。世界 145 カ国に存在し、地区ごとに研修や交流の場が設けられている。ボランティア活動などを通して、「超我の奉仕」を学ぶとともに、行動力やリーダーシップ、国際感覚などを養う。

富士学苑高等学校インターアクトクラブは、富士吉田ロータリークラブの提唱により、1990年に発足した。主な活動は、富士吉田ロータリークラブの方々との交流と、地域の様々なボランティア活動に参加することである。また、国際ロータリー第 2620 地区に所属し、静岡と山梨を合わせて 25 校のインターアクトクラブ員と交流を図っている。

※ロータリー……自分を磨き人を育て、奉仕活動などを行う世界的な団体

3. 富士吉田ロータリークラブとの連携

表 1 富士吉田ロータリークラブと合同で行う活動

	活動		活動
4月	RC 例会（青少年奉仕例会）	10月	IAC 例会，ポリオ撲滅運動 IAC 指導者講習会
5月	IAC 例会，地域清掃		
6月	IAC 例会	11月	IAC 例会，RC 地区大会
7月	IAC 例会	12月	RC 例会（クリスマス例会）
8月	IAC 年次大会，富士山清掃	1月	IAC 例会
9月	IAC 例会	2月	IAC 例会

IAC：インターアクトクラブ RC：ロータリークラブ

表 1 の通り、ほぼ毎月、富士吉田ロータリークラブと交流する機会が設けられている。年に 10 回行う IAC 例会には、ロータリークラブの代表の方に出席していただき、部の活動を知っていただくとともに、講評をいただいている。また、年に 2 回、ロータリークラブの例会に招待していただき、クラブの代表者が出席している。さらに、合同でボランティア活動や研修会に参加し、活動を通じて奉仕の精神を学んでいる。

(1) 青少年奉仕例会

富士吉田ロータリークラブの青少年奉仕例会に招待していただいた。日頃からご支援をいただいているロータリークラブの方々に、インターアクトクラブの活動を報告するとともに、ロータリークラブの取り組みについて学ぶ機会となった。(図 1)

(2) ポリオ撲滅運動

ポリオ撲滅に向けた募金活動を、富士吉田ロータリークラブの方々と合同で行った。街を歩きながら呼びかけを行うことで多くの方々にご協力いただき、一人ひとりの小さな力が合わさると、大きな力になると実感した。(図 2)



図 1 青少年奉仕例会



図 2 ポリオ撲滅キャンペーン

4. 地域のボランティア活動を通じた地域連携

地域の商工会議所や社会福祉協議会などから依頼を受け、下記のようなボランティア活動に参加した。

- ・ 地域振興活動……市民祭り，市場などの運営補助
- ・ 支援活動……募金活動
- ・ スポーツ大会補助……富士五湖周辺のマラソン大会等の運営補助
- ・ 啓発活動……薬物乱用防止運動
- ・ 介護施設行事補助……秋祭り等の運営補助

(1) 第14回 西裏昭和祭り

「昭和レトロ」をテーマに、地域の子どもたちと折り紙をしたり、喫茶店等の運営を補助したりした。地域の方々だけでなく、海外の方々とも交流する機会となった。

(2) オータムフェスタ 2025

富士吉田商工会議所青年部から要請をいただき、オータムフェスタのボランティア活動を行い、ヨーヨーやスタンプラリーなど、地域の子どもたちに楽しんでもらうコーナーを担当した。多くの人々の支えがあってイベントが成り立っていることに気付いた。



図3 第14回 西裏昭和祭り



図4 オータムフェスタ 2025

5. まとめ 富士学苑高等学校の校訓とインターアクトクラブの活動

インターアクトクラブの活動は、本校の校訓である、報恩・奉仕・精進を体現する活動である。自分たちが支援をする側の立場を経験することで、今まで当たり前感じていたことが誰かの支えによって成り立っていることに気付くことができた。そこから感謝の心が芽生え、今度は他者のために自分ができることを実践する奉仕の心が育まれている。また、ロータリークラブや地域の方々との交流を通じて「超我の奉仕」を学ぶとともに、自分が将来、どのように社会貢献をしていくか考える貴重な機会になっている。

インターアクトクラブの活動を通じて、一人ひとりが自分にできることを継続する姿勢を先輩方から引き継ぎ、自ら模範を示すことで、支援の輪を広げていきたい。

6. 参考・引用文献

^{†1} 令和7年度 富士学苑中学・高等学校 学校要覧

^{†2} <https://www.rotary.org/ja/get-involved/interact-clubs>